

45 ニクイロシブキツボ

(イツマデガイ科)

兵庫県ランク:A

Fukuia kurodai

環境省ランク:NT

種の概要

秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県に分布。殻長10mm、殻径5.5mm程度で、産地による差異があり、殻はやや細高い円錐形。殻皮は赤褐色で殻表には鈍い光沢がある。殻口縁は薄い成長すると黒く縁取られる。蓋は薄く黄色い半透明で少旋形である。

主要な選定理由

| 人為性 | | | 生息環境の特殊性 | | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|----------|-------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 分布域に影響 | 営利目的捕獲 | 特殊生息環境 | 地域的孤立 | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | △ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

県内分布

豊岡市、香美町、新温泉町

県内における生息状況及びその他特記事項

要注目からAに変更。但馬北部の谷筋で、水量の安定した小規模な滝の周辺に生息しているが、生息範囲は狭く、個体数もあまり多くない。また、生息地では滝及び周辺の岩盤が小さな棚状の地形を形成し、そこに落ち葉が堆積していることや、周辺に湿った環境を好むウワバミソウ *Elatostema umbellatum* が自生していることが共通している。既知産地の数箇所においては、上流側で道路工事が行われており、イノシシの餌場となって荒らされている。

保護上の留意点

近年になって複数の生息地が確認されたが、いずれも生息範囲は非常に狭い。また、これまでの調査では生息条件を満たすような場所であっても本種の生息が確認できない場合が多い。よって既知の生息地については現況を把握するとともに、生息条件に影響を与えるおそれのある生息地周辺の開発や樹木の伐採等は慎重を期す。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 宇野明